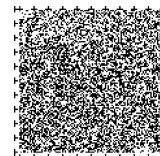


用語解説



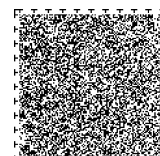
用語解説は、先頭文字がアルファベット表記の用語と先頭文字が日本語表記の用語の2つに分け、それぞれアルファベット順、50音順に並べてあります。

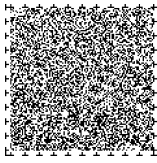
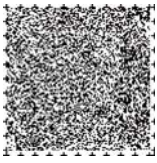
先頭文字がアルファベット表記の用語

A	ASP	85	ICTガバナンス	85	
B	BCP	85	ITS	85	
	BPR	85	L	LGWAN	85
C	CIO	85	O	OS	85
	COBOL	85	P	PMO	85
E	EDI	85	PV	85	
	eLTAX	85	S	SNS	85
	eラーニング	85	SSO	86	
G	GIS	85	Y	YCAN	86
I	ICT	85	Y・Y NET	86	

先頭文字が日本語表記の用語

か	仮想化技術	86	電子書籍	87	
	基幹、基幹情報システム	86	電子投票	87	
	クラウド、クラウドコンピューティング	86	は	バッチ処理	87
		86		フューチャースクール	87
	グリーンICT	86		ブログ	88
	グループウェア	86		ページ	88
	国民ID制度	86	ま	マイクロブログ	88
	コミュニティクラウド	86		ミドルウェア	88
さ	システム監査	86	や	ユビキタスネットワーク社会	88
	システムアセスメント	86	ら	リソース	88
	情報セキュリティ監査	87	わ	ワンストップサービス	88
	情報バリアフリー	87			
	政府共通プラットフォーム	87			
	ソーシャルメディア	87			
	ソリューション	87			
た	データセンター	87			
	デジタルディバイド	87			
	テレワーク	87			
	電子掲示板	87			





ASP (Application Service Provider)

業務用のアプリケーションソフトをネットワーク(特にインターネット)を利用して顧客にレンタルする事業者あるいはサービスそのもの。利用者は主にインターネットに接続されたコンピュータからブラウザソフトを使って事業者のサーバにアクセスし、提供される各種のアプリケーションを利用する。

BCP (Business Continuity Planning または Business Continuity Plan)

▶業務継続計画
自然災害やテロ、インフルエンザの発生など、事業が存続できなくなるリスクを事前に分析・想定し、継続に必要な最低限の業務や、復旧時間と対応策などを定めた包括的な行動計画のこと。

BPR (Business Process Re-engineering)

業務内容やその流れ(業務プロセス)を分析し最適になるように再設計したうえで、実際に業務内容や組織を変更したり業務プロセスを再構築したりすること。この基本方針では、業務のやり方を見直し、より適切なものに改善していく流れを指して利用している。

CIO (Chief Information Officer)

▶最高情報統括責任者
組織(企業)の情報戦略立案・実行の責任者。組織内の情報システムや情報の流れを統括する担当役員であることが多い。横浜市においては、総務局担当の副市長が務め、組織内のICT施策に関する全庁的な調整などを行っている。

COBOL (Common Business Oriented Language)

プログラミング言語の一つ。事務処理計算用言語であり、汎用性が高く大型計算機のプログラムなどに使われている1960年代から利用されている古典的な言語である。自然言語に近く、記述が長くなりがちではあるが、可読性、移植性、互換性、汎用性の高さなどから今なお多くのシステムで利用されている。

EDI (Electronic Data Interchange)

▶電子データ交換
商取引に関する情報を標準的な書式に統一して、企業間で電子的に交換する仕組み。紙の伝票をやり取りする方式に比べ、情報伝達のスピードが大幅にアップする。

eLTAX

▶地方税ポータルシステム
エルタックスと読む。地方税における手続を、インターネットを利用して電子的に行うシステム。地方税の申告、申請、納税などの手続を行うことができる。eLTAXは、electronic(電子)、Local(地方)、TAX(税)からなる造語。

eラーニング(e-learning または electronic learning)

パソコンやコンピュータネットワークなどを利用して学習や教育を行うこと。ある場所に人を集めて行う教育方法と異なり、時間や人数の制約が少なく、遠隔地でも教育を提供できることや、コンピュータならではの教材を利用できる点が特徴である。

GIS (Geographic Information System)

▶地理情報システム
地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ(空間データ)を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にするシステムである。

ICT (Information and Communications Technology)

▶情報通信技術
情報・通信に関する技術のこと。従来から使われてきた「IT」と同様の意味で用いられるが、ITの概念の広がりにより「IT」に替わってこちらが用いられるようになっている。一般的に「情報通信技術」と訳されることが多い。ただし文中で、IT産業やIT戦略本部、IT化推進本部会議など、固有の名称などについては、ICTとせずにITのままの表記としている。

ICTガバナンス (ITガバナンス)

企業が、ICTに関する企画・導入・運営及び活用を行うにあたって、すべての活動、成果及び関係者を適正に統制し、目指すべき姿へと導くための仕組み、または、その機能。

ITS (Intelligent Transport Systems)

▶高度道路交通システム
最先端の情報通信技術を用いて人と道路と車両とを情報でネットワークすることにより、交通事故、渋滞などといった道路交通問題の解決を目的に構築する新しい交通システムの総称。現在利用されている主なものとして、カーナビゲーションシステムと道路交通情報提供サービス(VICS: Vehicle Information and Communication System)、ETC: Electronic Toll Collection System(自動料金支払システム)やパスロケーションシステム等がある。

LGWAN (Local Government WAN)

▶総合行政ネットワーク
地方公共団体相互間のコミュニケーションの円滑化、情報の共有による情報の高度利用を図るための基盤として整備され、全国の地方公共団体の組織内ネットワークを相互に接続したもの。また、府省間ネットワークである霞が関WANとの相互接続により、国の機関との情報交換を行うことができる。

OS (Operating System)

コンピュータシステム全体を管理するソフトウェア。キーボードの入出力機能、メモリの管理など、コンピュータを動かす基本的な機能を提供する。主なものとして米マイクロソフト社のWindowsや米アップル社のMacOS、Linux等がある。

PMO (Project Management Office または Program Management Office)

企業・団体内で、個々のプロジェクトのマネジメント支援を専門に行う部門。常にいくつものプロジェクトが実施されているような大きな組織などに置かれ、プロジェクトマネージャなどが相互に調整を行い、それぞれのプロジェクトが円滑に進むよう、管理業務の支援やプロジェクト間の調整を行う。

PV (Page View)

Webサイト(ホームページ)のアクセス数の単位の一つ。Webサイトを閲覧した閲覧者の画面に1ページ表示されると1ページビューと換算する。主に、htmlファイルや単体のpdfファイル数などへのアクセス数を合計したものとなっている。

SNS (Social Networking Service)

人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイト。広義には、社会的ネットワークの構築できるサービスやWebサイトであり、狭義では、友人、知人間など人と人とのコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、趣味や居住地域、出身校といったつながりを通じて新たな人間関係の場を提供するコミュニティ型の会員制のサービス。代表的なSNSとして日本ではmixi、海外ではFacebookなどがあげられる。情報提供を行う機能に加え、ブログや自分のサイトの閲覧者がわかる機能(あしあと)等を持つなどの特徴がある。

SSO (Single Sign-On)

利用者が一度の認証処理によって、許可されている複数の機能が利用可能になるような認証機能のこと。SSOを導入した場合、利用者は基本的に単一のID、パスワードで関連する機能を全て利用できる。

YCAN (Yokohama CommunicAtion Network)

▶横浜市行政情報ネットワーク
市役所内部の業務を効率的・効果的に進めるための庁内ネットワーク(庁内LAN)。横浜市職員が職務で利用し、業務に関連した各種サービスが提供されている。また、インターネット、LGWANなどの利活用も可能。

Y・Y NET (Yokohama Yume Network)

▶横浜市教育情報ネットワーク
横浜市立学校全てを結ぶ教育ネットワーク。教科での学習や総合的な学習の時間における調べ学習などにおいて、児童・生徒の発達段階に応じた「情報活用能力」の育成を図るとともに、授業におけるICTの効果的な活用による「わかる、楽しい授業」の実現と「確かな学力」の向上を目的として、様々な情報や利用環境を提供している。

仮想化技術

単一の物理的な資源(コンピュータなど)を複数のものに見せかけたり、逆に複数の物理的な資源を単一のものに見せかけるなど、より、効率的に物理的な資源を活用する様々な技法。仮想化という概念自体は比較的古くからあり、様々な形態があるが、端的な例としては、高い能力を持った1台のコンピュータに、ソフトウェアを利用して仮想コンピュータを複数台設定し処理を行ったり、ネットワーク上にある複数の通常のパソコンをソフトウェアにより連携させ1台のスーパーコンピュータのようにして利用したりといったことがある。

基幹、基幹情報システム

横浜市において、主に区役所で提供される証明書発行などのサービスを支える大規模オンラインシステムの総称。主なシステムに、住民記録、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、税務などがある。

クラウド、クラウドコンピューティング

ネットワーク上の見えない所にあるサーバ群「クラウド(雲)」等が提供するサービスをネットワーク(主にインターネット)を介して利用するコンピュータの利用形態。「どこからでも、必要なときに、必要な機能だけ」利用することができる特徴がある。ASP(Application Service Provider:アプリケーションサービスを提供する事業者、又はそのサービス)やSaaS(Software as a Service:一般的にインターネット経由で必要な機能を利用する仕組み)などが代表的なサービス例。最近の傾向として、「クラウド」の概念自体が拡大する傾向にある。

グリーンICT

「ICT機器の導入、運用、廃棄に至るまでを含めた環境への負荷を減らすための包括的な考え方」であり、地球環境への負荷を低減できるICT製品や、サービス、ICTを活用し、地球環境への負荷を低減する取組などの総称。

グループウェア

組織(企業)内のネットワークシステムを活用して、情報共有やコミュニケーションの効率化を図ったり、共同作業を支援するソフトウェアの総称。例えば、グループ内のメンバーのスケジュール共有を行う機能や、グループ全体に広報を行う掲示板機能などの複数の機能が含まれているものが多い。

国民ID制度

税と社会保障制度共通の番号として、全国民に識別番号を割り当てること。政府では2013年の導入を目指し、利用範囲や、制度設計、プライバシーなどを始めとして様々な検討が行われている。

コミュニティクラウド

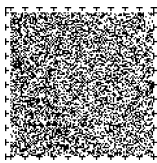
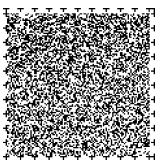
目的が共通の企業等のグループ(コミュニティ)によって利用されるクラウドコンピューティングの形態をさしている。サーバがどこにあるのかもわからないような大規模なサービスに比べ、内容を利用者が知ることができるため、セキュリティ面での安全性を得ることができると共に、効率性やコストの削減を実現することが可能。

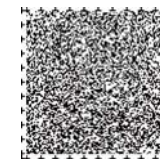
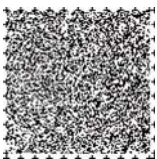
システム監査

情報システム環境を対象とした監査のこと。情報システムの開発・運用などの状況を点検・評価し、改善点などの勧告を行う。コンピュータシステムそのもののほかに、情報システムのライフサイクル(開発、運用、利用)全体が含まれ、マネジメント体制や内部統制、システムを利用した業務の内容など幅広い範囲が監査対象となる。

システムアセスメント

市民サービスの向上や事務の効率化等と情報システムの開発・運用に必要な経費について、信頼性・安全性・効率性等の面から総合的に評価し、情報化投資の適正化を図る手法のこと。





情報セキュリティ監査

情報セキュリティ対策の実施状況について、組織のセキュリティ基準などに則って適切に実施されているかどうかを、当該の部門以外の内部部門や、専門の外部機関が評価・検証を行うこと。情報セキュリティを実現するためのチェックとして有効であり、PDCAサイクルのC(Check)の段階で行うものである。

情報バリアフリー

ICT分野において、主に高齢者、障害者などをはじめとした方に生じる、様々な障壁を取り除くための施策、もしくは具体的にその障壁を取り除いた状態。障壁となる要因は、物理的なものだけでなく、社会的なものも含まれる。



政府共通プラットフォーム

政府情報システムの全体最適化を推進するため、政府情報システムの統合・集約化やデータ連係を図るための基盤。一層の効率化や利便性向上を図る観点から、クラウドコンピューティング技術等の最新の技術を活用することを想定している。

ソーシャルメディア

ユーザーが情報を発信し、形成していくメディアのこと。個人が発信する情報が不特定多数のユーザーに対して露出され、閲覧したユーザーはレスポンスを返すことができる。ユーザー同士のつながりを促進する様々な仕掛けが用意されており、互いの関係を視覚的に把握できるのが特徴。従来の新聞、テレビ、映画などの産業メディアとは区別されて用いられる。

ソリューション

課題やニーズに対して、情報通信の技術要素(ハードウェア、ソフトウェア、通信回線、サポート要員等)を組み合わせることで対応し、主に業務上の問題点の解決や要求の実現を行うトータルな情報システムのこと、またはその解決策のこと。



データセンター

顧客のサーバを預かり、インターネットへの接続回線や保守・運用サービスなどを提供する施設。データセンターは耐震性に優れたビルに通信回線を引き込んだ施設で自家発電設備や高度な空調設備を備え、IDカードによる入退室管理やカメラによる24時間の監視などを行い、セキュリティを確保している。

デジタルディバイド

パソコンやインターネットなどの情報通信技術(ICT)を使いこなせる者と使いこなせない者の間に生じる、情報の差による待遇や貧富、機会の格差のこと。個人間の格差の他に、国家間、地域間の格差を指す場合もある。

テレワーク

ネットワークを利用して、自宅などオフィス以外の場所で働く労働形態のこと。在宅勤務の一形態とも考えられる。社員にとっては通勤の必要がないことや、労働時間を自由に選べるなどのメリットがあり、会社にとっては大規模なオフィスを用意する必要がなくコスト削減につながるなどのメリットがある。

電子掲示板

▶BBS(Bulletin Board System)
コンピュータネットワークを使用した環境で、利用者が記事を書き込んだり閲覧したり、記事に対してのコメントを書き込むことができるようにした仕組み。情報交換・提供やコミュニケーションを行うことが可能。



電子書籍

既存書籍をデジタルデータ化、または、書籍そのものをデジタルデータで作成し、パソコンや携帯情報端末、携帯電話などで読める形にしたもの。ファイルに動画や音声を含めるなど、紙媒体では難しい電子書籍独特の表現が用いられることもある。

電子投票

狭義では、投票所でタッチパネルや押しボタンを用いて投票するなど、投票行為そのものを電子化すること。広義では、マークシートやパンチカードなどで集計を電子化することや、インターネットを用いて遠隔地から投票する方法も含まれる。

バッチ処理

コンピュータであらかじめ定めた処理(一つの流れのプログラム群)を一度にまとめて行うこと。データなどについてもまとめて投入される。一度処理が始まると、人間がついていなくても作業が実施され結果を得ることができるため、コンピュータや時間を効率よく利用できる。

フューチャースクール

協働教育の概念に基づいたICTを活用した教育。現在、明確に定義されたものではないが、教育の現場に積極的にICTを取り込み、児童が教えあい、学びあう環境を実現していく教育のありかた。無線LANで接続されたタブレットPCや電子黒板などを活用したものが想定されている。

ブログ(Blog)

個人や数人のグループで運営され、時系列で日々更新される日記的なWebサイトの総称。Weblogを略してBlog(ブログ)と呼ばれる。内容としては、ニュースや専門的事柄から日常のたわいもないことまで広範であり、コメントの記入やトラックバック(Track back)(ある他人のブログの記事に自身のブログへのリンクを作成する機能)等の機能を特徴とし、htmlなどを知らなくても開設や更新ができるものが多い。

ペイジー(pay-easy)

日本マルチペイメントネットワーク推進協議会「J.A.M.P.A.(Japan Multi-Payment Network Promotion Association)」が運営し、収納機関、金融機関の事務効率化を図る仕組み「マルチペイメントネットワーク」を利用した電子収納サービスの名称。税金や公共料金、各種料金などの支払いを、金融機関の窓口やコンビニのレジに並ぶことなく、パソコンや携帯電話、ATMから支払うことができるサービス。

マイクロブログ(microblogging)

時系列で更新される200字程度の短い文章を書いて公開するごく短いブログ。ミニブログとも呼ぶ。書き込んだ内容は、広く一般に公開するか、限られたユーザーグループにのみ公開するか選べるものが多い。

ミドルウェア

アプリケーションソフト(文書の作成や計算など、ある特定の目的のために設計されたソフトウェア)に対して、OSよりも高度で具体的な機能を提供するソフトウェア。OSとアプリケーションソフトの中間的な性格を持ち、その仲立ちをする場合も多い。ミドルウェアにはOSやハードウェアによる違いを吸収し、様々な環境で動作するアプリケーションソフトの開発を容易にするというメリットがある。

ユビキタスネットワーク社会

「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークにつながることで、様々なサービスが提供され、人々の生活をより豊かにする社会。社会の至る場所にある、あらゆるものにコンピュータが組み込まれ、それらが互いに自律的な通信を行うことによって生活や経済が円滑に進む社会のこと。例えばテレビや冷蔵庫などの家電製品や道路の信号機、食品や洋服などのタグ、日用品などにまでコンピュータを組み込んだり、埋め込むことで、それらが連携し、利用者はいつでも、どこでも、様々な恩恵をうけることが想定されている。

リソース

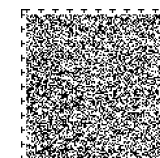
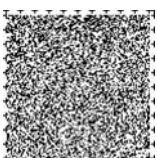
資源という意味を持つ言葉で、サーバなどのハードウェア・ソフトウェアのことや、コンピュータのCPUの処理速度やメモリの容量などを指す。また、プロジェクトの遂行に必要な人員や資金、設備などを指す場合もある。

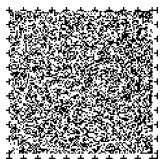
ワンストップサービス

一度の手続きで、必要とする関連の作業、手続きをすべて完了させられるように設計されたサービス。または、最初に行った一つの窓口で必要とする全てのサービスが受けられるようなサービス形態。特に、様々な行政手続きを一度に行える、ワンストップ行政サービスのことを指す場合が多い。

各用語については、次の資料やWebサイトを参考にしています。(平成22年12月時点)

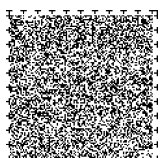
- IT用語辞典 e-Words (<http://e-words.jp/>)
- 大阪市Webページ (<http://www.city.osaka.lg.jp>)
- ITpro (<http://itpro.nikkeibp.co.jp>)
- 情報通信白書 (<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/>)
- LASDEC (<http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp>)
- 国土地理院 (<http://www.gsi.go.jp/>)
- 国土交通省道路局ITSホームページ (http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/whatsITS/index.html#top_tab)
- 経済産業省 IT経営ポータル (http://www.meti.go.jp/policy/it_policy/it_keiei/index.html)
- eLTX 地方税ポータルシステム (<http://www.eltax.jp/>)
- PC online (<http://pc.nikkeibp.co.jp>)

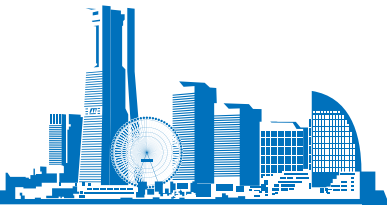




平成22年度(2010)
横浜市情報化の基本方針

平成23(2011)年2月発行
[編集・発行] 横浜市総務局IT活用推進部 IT活用推進課
〒231-0017 横浜市中区港町1丁目1番地
電話 045-671-2118 FAX 045-663-1379
電子メール so-icts@city.yokohama.jp
デザイン・レイアウト: (株)アド・カジェンス





横浜市 